



発行 自治医科大学さいたま医療センター
医事課
住所 〒330-8503
さいたま市大宮区天沼町1-847
電話 048-647-2111
FAX 048-648-5180
URL <http://www.jichi.ac.jp>

センターだより第15号案内（新年号）

- 年頭のご挨拶 小西副センター長
- 安全・安心な医療を提供するために
- センターからのお願い
- ご理解願います



年頭のご挨拶

自治医科大学附属さいたま医療センター
副センター長 小西文雄

あけましておめでとうございます。

自治医科大学附属さいたま医療センターは、皆様のおかげで開設19年を迎えることが出来ました。この間、総合診療および専門領域の診療におきまして、さいたま市を中心とした地域の医療に貢献して参りました。年々当センターを受診される患者さんが増加し、現在の病床数と診療科のみでは地域のニーズにお応えすることが困難な状態となりつつあります。

数年前より、埼玉県、さいたま市並びに地元医師会から、高度専門医療をはじめとする救急医療並びに周産期医療の設置、充実が求められてきました。

さらに、大学病院としての医学生教育、自治医科大学卒業生に対する初期研修・後期研修、他大学卒業生の臨床研修並びに医師の専門研修を幅広く行う必要性もあるため、小児科、産科を設置して診療および医学教育面の充実を図る必要性もあります。

このようなニーズに応えられるように、数年前から増床を計画致し、現在、病棟の南側の隣接地に建築中でありました200床の病棟（南棟）の建物の建築が完成しつつあります。この新棟には既存の診療科の病床に加え、産科、小児科、周産期センターの増設を予定しております。地域に密着した高度な新生児医療及び周産期医療の提供を目指し、地域周産期医療センターとしての役割を果たしながら、子どもを産み育てる環境づくりの一助として整備することを計画しております。

さらに、新棟におきましては救急部門を拡張し、救急医療の充実も目指しております。救急医療については、すでに平成15年9月に救急部の整備を行いました。将来的には地域の要請に応えられる救命・救急センターを目指してまいりたいと考えております。新棟（南館）2階には、3つの手術室を有する日帰り手術部門を開設して眼科手術やその他局所麻酔による手術を施行し、手術待ちの患者さんに少しでも円滑に手術を受けて頂けるように考えております。手術に関しましては、新棟オープン2年後には現在の中央手術部を4部屋増設して、全身麻酔手術につきましてもさらに円滑に手術を受けて頂ける体制を整える予定です。

また、センターの高度専門医療についての将来計画としまして、がん、心疾患、脳血管疾患等に対応するため、進行悪性腫瘍の治療・手術、骨髄移植、放射線治療、開心術、冠動脈バイパス手術、大血管手術、脳卒中急性期治療等をさらに発展して行うべく、各専門の医療機器を配備し、対応してまいりたいと考えています。

南館（新棟）は現在の病棟と同様6階建てであり、1階と2階に、渡り廊下を設置して本館との行き来を図る予定です。南館におきましては、医療従事者の仕事の充実と円滑化を図るために、図書室の移転拡張、講堂や会議室の設置、更衣室や医師のデスクスペースなどの整備も計画しております。また、新都心が一望に見渡せる見晴らしの良い屋上には、植樹をして緑空間を作りレストランを開く予定です。入院患者さんのみならず、面会の家族の方々のオアシスとなれば幸いです。また、南館の南東には、さいたま市によって建設された合併記念見沼公園が広がっており、心休まる景観となっております。

また、今までご迷惑をおかけいたしておりました駐車場のスペースは、新棟（南館）の南側に増設する予定で、この駐車場スペースの拡張によって、車で来院される患者さんのご不便が少しでも緩和されることと思われます。

新年にあたりまして、自治医科大学附属さいたま医療センターの2008年以後の計画につきましてご説明いたしました。診療内容の拡張・充実をはかり、レベルの高い医療を円滑に受けて頂けるよう私ども職員一同今後とも努力する次第でございますので、引き続き皆様のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。



安全・安心な医療を提供するために

～ 暴力・暴言・セクハラ等の根絶 ～

近年、相次ぐ報道の中で全国各地の医療機関において、医師・看護師やその職員が、一部の患者さん等から「暴力や暴言」を浴びせられ、「正当な治療行為」を妨害される現状や患者さんが事件に巻き込まれるケースも後を絶たず、医療機関にとって憂慮すべき大きな社会問題となっております。

当センターでは、患者さんとの十分な信頼関係を築きながら、医療スタッフの良心に従って最善の治療行為を尽くすとともに安全で安心な質の高い医療を提供いたしております。

従いまして、当センターで治療を受ける患者さんやその付添いの方などが、医療スタッフの指示に従うことなく、理不尽な迷惑行為、身体的暴力、暴言、セクハラ行為など反社会的行為を起こさないことを切に願うとともに、ご理解とご協力をお願いいたします。



センターからのお願い

◆ 早朝のご来院について

正面玄関は、診療日の午前7時30分に開きます。

それ以前に来院され長時間お待ちいただくことは、体調を悪化させる原因にもなりかねませんので、早朝より並ばれることを自粛してくださるようお願いいたします。

◆ 受診には健康保険証のご提示を

毎月初めの受診の際は、必ず健康保険証のご提示をお願いいたします。

ご提示がなく健康保険証の確認ができない場合は保険請求ができなくなることもあり、原則として、当該日の診療費は自費診療扱いとさせていただきます。

◆ 住所・電話番号が変わられた場合はお申し出を

診療の都合で当センターから患者さんへのご連絡等が必要な場合があります。住所や電話番号が変わられた場合は、必ず初診受付までお申し出ください。

ご理解願います

◆ 予約変更専用電話について

当センターでは代表電話と予約変更専用電話の2回線を設置しております。代表電話では

まず交換手に対応し、お話の内容を確認後に各部署の内線電話に取次ぎます。これに対し予約変更専用電話は予約センターに直通となっております。予約の日時を変更したい方は、下記の専用電話でのみ受付ておりますのでご理解願います。

予約変更電話受付時間 午後2時～午後4時

土・日・祝日 創立記念日（5月14日）年末年始は休止しております。

電話番号 048-647-4898



曜日、時間帯によりつながりにくい場合がありご迷惑をおかけしておりますが、電話回線に限りがありますのでご理解願います。

◆ 受診時のクリアーホルダーについて

現在、受診の際には受診票や診察カードを入れる青いクリアーホルダーをご利用いただいておりますが、「診察カードが落ち易い」とのご意見をいただいております。ホルダーにカード用のポケットを付ける等の落下防止策の検討を進めております。

ポケットを付けた場合にカードは落ちにくくなりますが、一方、手指の動きや視力に支障のある方には、スムーズにカードの出し入れができないことも考えられます。

新年度から、現在使用中のホルダーとポケット付きを併用し、利用者の声を聴きながら最良の方法に変更していきたいと考えておりますので、それまでの間、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 院内での携帯電話の使用は禁止としています

当センターに受診の患者さんは循環器疾患の患者さんが多数いらっしゃいます。

循環器疾患の患者さん方は、高度の電子医療機器を必要とし、生命維持用の医用電子機器を装着し病棟や通路を移動している患者さんも多くおられます。

このため、少しでもリスクのあるもの（一般携帯電話の医療機器への障害発生率は37%とされています。）については、患者さんの生命の安全を第一と考え、安全性に確信が持てない限り排除（使用禁止）することとしております。

一方、センター内で医療関係者が使用している携帯電話（PHS）は、医療現場の緊急用として、送信電力は一般携帯電話（500mW）の約1/50（10mW）以下であり、一般家庭電話の無線子機や電子レンジよりも低出力のものです。このように院内での使用にあたっては十分な注意を払っております。

なお、センター内には、ご不便を来さないよう公衆電話を数多く設置しておりますので、院内では公衆電話をご利用願います。

